

滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和元年度 滋賀県がん診療連携協議会 第2回相談支援部会																																																							
開 催 日 時	令和元年11月14日(木) 17:00~18:20																																																							
開 催 場 所	滋賀県立総合病院 新館4階講堂																																																							
出 席 者	<p>【部会員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">滋賀県立総合病院</td> <td style="width: 50%;">山内 智香子 (部会長)</td> </tr> <tr> <td>大津赤十字病院</td> <td>塘 賢二郎 (副部会長)</td> </tr> <tr> <td>市立長浜病院</td> <td>伏木 雅人 (副部会長)</td> </tr> <tr> <td>滋賀医科大学医学部附属病院</td> <td>林 駒紀 (代理) 木村 由梨</td> </tr> <tr> <td>大津赤十字病院</td> <td>山本 茂子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県立総合病院</td> <td>岡村 理</td> </tr> <tr> <td>公立甲賀病院</td> <td>岡本 直子</td> </tr> <tr> <td>彦根市立病院</td> <td>乾 昌典</td> </tr> <tr> <td>高島市民病院</td> <td>大塚 初美</td> </tr> <tr> <td>市立大津市民病院</td> <td>難波 紀代子</td> </tr> <tr> <td>草津総合病院</td> <td>小林 千帆</td> </tr> <tr> <td>済生会滋賀県病院</td> <td>山田 寿美</td> </tr> <tr> <td>近江八幡市立総合医療センター</td> <td>木本 美由紀</td> </tr> <tr> <td>長浜赤十字病院</td> <td>寺村 育美</td> </tr> <tr> <td>東近江総合医療センター</td> <td>長岡 紀江</td> </tr> <tr> <td>滋賀県医師会</td> <td>重永 博</td> </tr> <tr> <td>滋賀県歯科医師会</td> <td>柴田 稔</td> </tr> <tr> <td>滋賀県薬剤師会</td> <td>渡邊 佳子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県歯科衛生士会</td> <td>中西 美幸</td> </tr> <tr> <td>滋賀県がん患者団体連絡協議会</td> <td>菊井 津多子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県がん患者団体連絡協議会</td> <td>須藤 恵子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県立総合病院</td> <td>川邊 義巳</td> </tr> </table> <p>【オブザーバー】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">滋賀県がん患者団体連絡協議会／より良いがん医療をめざす近江の会</td> <td style="width: 50%;">野崎 安美</td> </tr> <tr> <td>淡海かいつぶりセンター</td> <td>宮本 美佐江</td> </tr> <tr> <td>滋賀県立総合病院</td> <td>吉田 智美</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">滋賀県立総合病院</td> <td style="width: 50%;">湊山 祐一</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">(敬称略)</td> </tr> </table>			滋賀県立総合病院	山内 智香子 (部会長)	大津赤十字病院	塘 賢二郎 (副部会長)	市立長浜病院	伏木 雅人 (副部会長)	滋賀医科大学医学部附属病院	林 駒紀 (代理) 木村 由梨	大津赤十字病院	山本 茂子	滋賀県立総合病院	岡村 理	公立甲賀病院	岡本 直子	彦根市立病院	乾 昌典	高島市民病院	大塚 初美	市立大津市民病院	難波 紀代子	草津総合病院	小林 千帆	済生会滋賀県病院	山田 寿美	近江八幡市立総合医療センター	木本 美由紀	長浜赤十字病院	寺村 育美	東近江総合医療センター	長岡 紀江	滋賀県医師会	重永 博	滋賀県歯科医師会	柴田 稔	滋賀県薬剤師会	渡邊 佳子	滋賀県歯科衛生士会	中西 美幸	滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子	滋賀県がん患者団体連絡協議会	須藤 恵子	滋賀県立総合病院	川邊 義巳	滋賀県がん患者団体連絡協議会／より良いがん医療をめざす近江の会	野崎 安美	淡海かいつぶりセンター	宮本 美佐江	滋賀県立総合病院	吉田 智美	滋賀県立総合病院	湊山 祐一	(敬称略)
滋賀県立総合病院	山内 智香子 (部会長)																																																							
大津赤十字病院	塘 賢二郎 (副部会長)																																																							
市立長浜病院	伏木 雅人 (副部会長)																																																							
滋賀医科大学医学部附属病院	林 駒紀 (代理) 木村 由梨																																																							
大津赤十字病院	山本 茂子																																																							
滋賀県立総合病院	岡村 理																																																							
公立甲賀病院	岡本 直子																																																							
彦根市立病院	乾 昌典																																																							
高島市民病院	大塚 初美																																																							
市立大津市民病院	難波 紀代子																																																							
草津総合病院	小林 千帆																																																							
済生会滋賀県病院	山田 寿美																																																							
近江八幡市立総合医療センター	木本 美由紀																																																							
長浜赤十字病院	寺村 育美																																																							
東近江総合医療センター	長岡 紀江																																																							
滋賀県医師会	重永 博																																																							
滋賀県歯科医師会	柴田 稔																																																							
滋賀県薬剤師会	渡邊 佳子																																																							
滋賀県歯科衛生士会	中西 美幸																																																							
滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子																																																							
滋賀県がん患者団体連絡協議会	須藤 恵子																																																							
滋賀県立総合病院	川邊 義巳																																																							
滋賀県がん患者団体連絡協議会／より良いがん医療をめざす近江の会	野崎 安美																																																							
淡海かいつぶりセンター	宮本 美佐江																																																							
滋賀県立総合病院	吉田 智美																																																							
滋賀県立総合病院	湊山 祐一	(敬称略)																																																						
欠 席 者	<p>【部会員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">市立長浜病院</td> <td style="width: 50%;">橋本 祥子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県看護協会</td> <td>初田 聡美</td> </tr> <tr> <td>滋賀県健康医療福祉部</td> <td>大井 恭子</td> <td style="text-align: right;">(敬称略)</td> </tr> </table>			市立長浜病院	橋本 祥子	滋賀県看護協会	初田 聡美	滋賀県健康医療福祉部	大井 恭子	(敬称略)																																														
市立長浜病院	橋本 祥子																																																							
滋賀県看護協会	初田 聡美																																																							
滋賀県健康医療福祉部	大井 恭子	(敬称略)																																																						
議 事 概 要	<p>【審議事項】</p> <p>1. 相談支援部会の取り組み評価について (中間評価) [事務局] 令和元年度実施計画に基づき実績・取り組み内容を報告。当初の計画をほぼ履行できていることから「A」の評価とさせていただき、部会員の承認をいただいた。</p> <p>2. 「滋賀の療養情報」の更新について [事務局]</p>																																																							

(1) 「滋賀の療養情報（第7版）」WGメンバーの就任について

第1回相談支援部会において前回のWGメンバーを主体に本人への意思確認のもと調整させていただくことで承認をいただいております、うち1名の交代があったものの、その他の方については引き続き就任いただけることとなり、部会員からも承認をいただきました。

(2) 「滋賀の療養情報（第7版）」の内容について

紙面の構成等については、前回（第6版）の作成時に大きな見直しの上で最新のトピックを加えて追加・校正を行っているため、今回（第7版）についてはWGメンバーとも調整の上で、大きな枠組みは変更せず基本的に第6版[一部改正版]を基に内容修正を開始することとし、今後の流れについては、WGメンバーで一定の校正を行った後に、相談支援部会員に電子メールにより校正原稿を添付し送信するので御確認いただきたい旨、承認をいただきました。

(3) 「滋賀の療養情報（第7版）」に記載の県ホームページのURLの表記について

第6版は県ホームページのリニューアルによりURLの変更が想定されていたためキーワードで検索していただくように表記していたが、引き続き、県において「ストック情報等について時系列以外での分かりやすい表示に改め、情報の探しやすさを向上する等、今年度と来年度にかけて更にホームページの改善に取り組む予定」とされていること、「県のホームページのURLが数字の羅列になっており端末入力時に分かりにくい」こと等から、第7版についても、第6版と同様に、キーワードで検索していただく旨の表示とすることで部会員から承認をいただきました。

【報告（情報共有）事項】

1. がんゲノム医療に関する相談支援・情報提供の体制について

[山内部会長(滋賀県立総合病院)]

滋賀医科大学医学部附属病院においては予めからがんのゲノム医療・遺伝子パネル検査が行われているが、滋賀県立総合病院も4月から京都大学医学部附属病院の連携病院の指定を受けており、県の拠点病院として体制を整えているところである。本年(令和元年)の10月1日より「遺伝子診療センター」として高度医療センターの中に位置付け、診療内容としては「がんゲノム医療」「遺伝性腫瘍の診断・治療」「遺伝カウンセリング」を掲げ、将来的には「がん以外の遺伝性疾患の診断・治療」を行っていく予定。また、構成員としては、ゲノム医療推進委員会委員として8名、ゲノム医療推進ワーキンググループメンバーは多職種39名の体制で進めている。滋賀県立総合病院は滋賀医科大学医学部附属病院とは異なり、保険診療の検査のみさせていただくこととし、現在「NCCオンコパネル」の準備を進めている。細かい診療の流れはホームページ等で御確認いただきたい。また、院外紹介患者の流れについては、患者様・ご家族が御希望された場合、第一の窓口として「がん相談支援センター」に御紹介いただき、「どのような検査であるか」「現在では検査を受けても治療に繋がる可能性が低い状況であること」等をしっかりと説明の上で検査等を進めていきたいと考えている。検査等を御希望される方がおられたらぜひ御紹介いただき、まず「がん相談支援センター」に御一報いただきたい。また、申込用紙等は順次ホームページ等に掲載していくので御活用願いたい。

[木村部会員代理(滋賀医科大学医学部附属病院)]

滋賀医科大学医学部附属病院においては、現在システムを作っているところであり整いつ次第、御案内をさせていただく。ただ、「がん相談支援センター」を通すという形ではないため、滋賀県立総合病院とは異なる依頼方法になる見込みである。今後、順次広報させていただきます。

2. 2019年度第1回がん相談支援センター相談員研修会

～相談対応の質保証を学ぶ～について

[岡村部会員(滋賀県立総合病院)]

本年(令和元年)11月8日に滋賀県立総合病院リハビリテーションセンター研修室にて

「相談対応の質保証を学ぶ」をテーマに相談員研修会を開催。2年前には国立がん研究センターから職員を招聘し開催した研修を、今回は県内相談員の自前で企画・催したものである。参加人数は17名で、うち9名が受講生で、他はスタッフである。開催後のアンケートでは多くの方が高評価で「おおむね理解できた」「非常に有意義である」等の回答をいただいている。本テーマの研修は、国立がん研究センターから定期的に開催してほしいとの要望があるため、滋賀県においてもまた開催したいと考える。次回開催の際には多くの方に御参加いただきたい。

3. 滋賀県健康医療福祉部からの連絡事項について [事務局にて代理説明]

(1) がん患者等就労支援サポート事業者表彰事業について

「治療と仕事の両立」に関して積極的な取組を実施されている事業者を表彰し、治療と仕事の両立を推進することを目的に今年度新たな事業として実施されているため、是非、貴事業者や患者様のお勤め先等の応募について周知等よろしく願いたい。

(2) 小児がん専門相談について

小児がん患者様・ご家族は医療に関すること、容姿や生殖機能に関すること、学校生活や友人との関係性や利用できる制度などについて、多岐にわたる不安や心配なことが治療中のみならず、治療終了後にも継続しているため、今年度から小児がん患者様・ご家族・関係者の方々に対して、ワンストップの個別専門相談が設置されている。患者様・ご家族の方への御周知や、関係者の皆様による御活用をよろしく願いたい。

(3) 滋賀の療養情報を活用した情報提供について

がん患者の皆様に必要な情報を、がんと診断された早期に主治医等医療者から患者様・ご家族に説明して手渡しすることが求められており、現在、第6版改訂版が作成されているが、この「滋賀の療養情報」を有効活用して必要な情報を適切な時期・方法で提供することについて協力の依頼があった。

また、提供した情報が患者様・ご家族の方にとってどのような有意義であったかなど活用状況等の評価できるように、是非アンケートの実施や、日常の相談業務の際に声を拾っていただくようにとの依頼があった。

[菊井部会員(滋賀県がん患者団体連絡協議会)]

がんと診断された際の早期の手渡しによる情報提供は非常に大切だと考える。患者様・ご家族が困っておられる際、「滋賀の療養情報」などで正しい情報を丁寧に、適切な時に受け取っていただくことができるように、病院単位あるいは診療科単位でも、もう一度御検討いただければと考える。よろしくお願ひしたい。

[山内部会長(滋賀県立総合病院)]

比較的にがん相談支援センターまで行き着いていただいた患者様には手渡しで受け取っていただくことができていると思うが、なかなか各外来においては手渡しができている現状ではないかと思われる。当院でも取り組みたいと思うが、各御施設・団体様におかれても御努力いただければありがたい。

また、各病院の管理職の方が多岐診療支援部会でも「滋賀の療養情報」を紹介・配布させていただき、患者様にお渡しいただくようお願いさせていただいているので、その旨申し添えさせていただく。

4. 滋賀県がん患者団体連絡協議会からの報告事項について

[須藤部会員(滋賀県がん患者団体連絡協議会)]

現在、2019年度のピアサポーター養成講座を開催させていただいている。病院の場をお借りしたり、講師をお願いしたりして皆様には大変お世話になっておりお礼を申しあ

げる。8期までの方は73名の方が活動しており、今回は9期生を募集した。しかしながら申し込みが10名と少なく、更には、養成講座の中で適正をみさせていただいたり、ご本人の辞退等があり現在では5名のみが残っておられる状況。来年4月からこの方々に活動いただく予定。今後どうすればピアサポーターとして共に活動いただける方が増えるのか悩んだり考えたりしている。

[菊井部会員(滋賀県がん患者団体連絡協議会)]

県内でのサロンでの傾向を紹介。昨年度(2018年度)は、市立大津市民病院での「なごみ」、滋賀県立総合病院での「こころ」、大津赤十字病院での「F.M.AYA」の3つが新たに開設され、合計で119名の参加があったこともあり、2017年から大きく増え、合計で902名の方に参加いただいた。内訳は、患者・家族が549名(内、初参加が196名)、世話人以外のピアサポーターが157名となっている。

統計で特徴的なこととして、滋賀県立総合病院での「笑顔」と「こころ」の参加者が多い。これは院内放送による案内の影響が大きいと思われる。

フェイススケールの変化率については、各サロン間に大きな差異は認められない。これは、12のサロンで同じような運営を図ることができるよう、フォローアップ研修の開催や、世話人の質を一定にしようとする努力が顕れているのではないと思われる。

病院から紹介してくださる際には、患者様にご自身の病状をしっかりと把握していただいております。これが大事であるが、そのためにどのようにしたら良いかと考えた場合、がん相談支援センター等にしっかりと繋ぐ、またお互いに連携することが大切だと考える。

5. 認定がん医療ネットワークナビゲーター制度について

[伏木副部長(市立長浜病院)]

○本件についてこの場でのプレゼンテーションは3回目くらいになるか。日本癌治療学会で本制度が創設。数年かけてパイロットスタディから始められ、昨年からは全国展開で増やしていこうという動きがある。研修施設も国全体で88となり、「がん医療ネットワークナビゲーター(以下、「ナビゲーター」という。)」は様々な場所で活躍していただいております。「がん医療ネットワークシニアナビゲーター(以下、シニアナビゲーターという。)」を取得していただいている方も69名に至っている。日本癌治療学会の会員には本制度についての周知も進んでいると思われる。

○一方で、このナビゲーター等がどこで、どのような役割を担うのかという点が明確化されておらず、ナビゲーター等になった後のメリット等のイメージが描き難いため、取得に向けての動機付けに繋がっていない状況である。

○自ら受けるがん治療を最初から自分の意思でしっかりと選んで来ていると思っておられる患者様の比率は必ずしも高くなく、疑問や不安、心配等を多く抱えつつも周囲から言われるがまま、あるいは目の前にあるものを取りあえずこなさなければならないという状況で治療を継続し、状態が悪くなっていくと「ご自身が思っていた人生と異なった方向へ流されているのではないかと後悔される患者様も多いのではないだろうか。そうならないために、患者様の治療における初期の段階で、もっと不安や疑問の解消など相談の場が重要視されなければ適切ながん医療に繋がらないのではないかと考える。「そのような意味でも本制度の更なる展開により、ナビゲーター等の活躍が期待されている」と日本癌治療学会の西山元会長が仰っておられた。

○また、がん相談支援センターの窓口で疑問や不安、心配を抱いた患者様全員が押し寄せると対応が困難になるのではないかと考えるので、サロンにおけるピアサポーターと同様に、間を繋ぐものとしてナビゲーター等と役割を分担することも重要ではないかと考える。

○「がん医療ネットワークナビゲーター」等の制度について説明。

●「ネットワークナビゲーターの業務」

- ①地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を収集する
- ②地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を提供する

- ③地域のがん診療連携活動に参加する
- ④医療介入またはこれに相当する可能性のある行為は行わない

●「シニアナビゲーターの業務」

- ①地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を収集する
- ②がん患者・家族等の求めに応じ、がん診療情報や医療サービス情報を適切に提供する
- ③地域連携クリティカルパスの運用支援を行う
- ④臨床試験・治験に関する情報を適切に提供する
- ⑤がん診療連携拠点病院の相談支援センターと連携し、地域のがん診療連携活動を推進する
- ⑥医療介入またはこれに相当する可能性のある行為は行わない

●「ネットワークナビゲーター」はeラーニングで学ぶことでなることができるが、「シニアナビゲーター」には更にコミュニケーションスキルセミナーを受け、病院での実地研修等を受けることでなることができる。現在のところ県内で実地研修を実施していることを正式に表明している病院は市立長浜病院のみであるが、滋賀医科大学医学部附属病院等とも調整を図っている。

●滋賀県においては、市立長浜病院で「シニアナビゲーター」を2名輩出させていただいている。

●ナビゲーター等には、医療従事者からなる人が多く全体の75%程度か。がん患者様やご家族からは13%程度である。

●ナビゲーター等が学ぶeラーニングのコンテンツは現在41講座に及んでいるが、「AYA世代に関するテーマ」や「放射線治療に関する項目」など足りないと思われる科目もあるため追加していただくよう日本癌治療学会に働きかけていきたい。

○ナビゲーター等の活躍の場を広げていくことについては全国各都道府県で模索されている途中かと思われる。

[野崎オブザーバー(滋賀県がん患者団体連絡協議会/より良いがん医療をめざす近江の会)]

○本年(2019年)2月に伏木副部会長からの勧めもあり「認定がん医療ネットワークシニアナビゲーター」を取得した。ピアサポーターでもある。

○先般、日本癌治療学会の学術集会にも参加し、全国の皆様とも交流させていただいた。先進県の患者様とも交流し、一人ひとりが悩みながら苦しみながら道を開いておられるというのが現状。日本癌治療学会でも、ようやく「認定すること」から「どのように活躍していただくかということ」に考えを切り替えていくといった状況の様であるが、私たちは「がん難民」の様になっておられる患者様を一人でも減らし、がん相談支援センターに繋いで差し上げるということが業務かと感じている。

○シニアナビゲーターになるために、eラーニングを経てコミュニケーションスキルセミナーを受けた。また、病院の見学については、キャンサーボードや抗がん剤の調合、手術室での機器に関する丁寧な説明など貴重な体験をさせていただいたこともあり、がん患者様のためにお役に立ちたいという思いでいっぱいである。

○現在は、まだまだ活動できることは少なく、今春の長浜バイオ大学でのイベントで「乳がんの早期発見の必要性」について話をさせていただいたり、市立長浜病院での今後のイベントに参加協力をいただいていることくらいである。県としてもナビゲーターの活動について御検討いただきたいと思う。

【その他】

1. 淡海かいつぶりセンターからの連絡事項

[宮本オブザーバー(淡海かいつぶりセンター)]

リーフレット等での活動に関する周知の依頼。「AYA世代の集い」を隔月に開催している。また、2019年11月21日には特別企画を開催するので皆様方にぜひ参加いただきたい。更に、かいつぶりセンターでは、遺族相談も実施している。グリーフケアアドバイザー

	一や上智大学認定臨床傾聴士のお二人の方にスタッフとして関わっていただき「大切な方やご家族を亡くされた方の集い」も開催予定。また、毎月第4木曜日午後にはグリーフケアの個別(対面)相談も実施しているので、皆様のところへ相談に来られたご家族や関係者等にお勧めいただきたい。
その他	特になし

以上のおり報告します。

令和元年 11月14日

滋賀県がん診療連携協議会 会長 様

相談支援部会 部会長 山内 智香子